

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 26 日 (2012.1.26)

【公開番号】特開 2010-216035 (P2010-216035A)

【公開日】平成 22 年 9 月 30 日 (2010.9.30)

【年通号数】公開・登録公報 2010-039

【出願番号】特願 2009-64039 (P2009-64039)

【国際特許分類】

D 2 1 H 27/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 27/00 A

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

B 3 2 B 27/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 2 日 (2011.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

木材パルプ 100% で構成された両面テープ用原紙において、吸水度が 90 mm / 10 分以上、縦の引っ張り強さが 1.5 kN / m 以上、横の引っ張り強さが 0.5 kN / m 以上に調整されたことを特徴とする両面テープ用原紙。

【請求項 2】

請求項 1 の両面テープ用原紙を用い水系粘着剤を両面併せて固形分で 40 ~ 100 g / m² 塗工し密度 0.90 g / cm³ 以上となるよう厚み調整して作製された両面テープ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明者らは、かかる課題を解決するため、両面テープ用原紙の原料を木材パルプ 100% とし当該パルプを NBKP と LBKP を 100 : 0 ~ 80 : 20 までの比率で混合して、ろ水度を 600 ~ 650 ml CSF に叩解し、米坪調整して抄紙機にて抄造することで、吸水度を 90 mm / 10 分以上、縦の引っ張り強さを 1.5 kN / m 以上、横の引っ張り強さを 0.5 kN / m 以上に調整した両面テープ原紙が水系の粘着剤に適していることを見い出したものである。更に、この原紙に水系の粘着剤を両面塗工した後に厚み調整して作製することにより、リサイクル時に破れることなく、糊残りすることなく剥がせる両面テープを作製できることを見出し本発明を完成するに至った。すなわち本発明は、(1) 木材パルプ 100% で構成された両面テープ用原紙において、吸水度 90 mm / 10 分以上、縦の引っ張り強さが 1.5 kN / m 以上、横の引っ張り強さが 0.5 kN / m 以

上に調整されたことを特徴とする両面テープ用原紙、(2)(1)の両面テープ用原紙を用い水系粘着剤を両面併せて固形分で $40 \sim 100 \text{ g/m}^2$ 塗工し密度 0.90 g/cm^3 以上となるよう厚み調整して作製された両面テープ、を提供するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明によれば、両面テープ用原紙の材料に木材パルプを用い、当該パルプをNBKPとLBKPを100:0~80:20までの比率で混合して、ろ水度を600~650mlCSFに叩解し、米坪調整して抄紙機にて抄造することで、吸水度を90mm/10分以上、縦の引っ張り強さを1.5kN/m以上、横の引っ張り強さを0.5kN/m以上に調整した水系の粘着剤に適した両面テープ用原紙を得ることができる。更に、この原紙を基材として、水系の粘着剤を両面に塗工し、厚み調整して得られる両面テープはリサイクル時に破れることなく、糊残りすることなく剥がすことができる。